

# 泥かきに流木搬出

## 桐生のボランティア 酷暑の作業

### 復旧ニーズ多様化 長期戦



横地さんが所有する水田脇の泥を片付ける一行  
＝16日午前11時ごろ

#### 西日本豪雨

【岐阜＝丸岡美寛】西日本豪雨で千歳近くが浸水被害に遭った岐阜県関市で16日、桐生災害支援ボランティアセンター（宮地由高センター長）が派遣した8人が前日に続き、流木の搬出や泥かきなどの復旧作業に当たった。

一行は前日と同じ上之原地区で作業。津保川沿いにある河合武志さん（71）方の倉庫内の流木を運び出し、横地登さん（78）が所有する水田から引き出された泥を片付けた。

浸水し、玄関の上がり口まで泥水が押し寄せたという。河合さんは「汚くて申し訳ない」との理由からボランティアの受け入れをためらっていたが、近隣住民の助言で依頼した。

きを行い、道路の隅に寄せ集めたという。

この日は気温が35度近くまで上がる中、一行は午前中の約2時間にわたって倉庫内の流木や、使えなくなつたふすまを外に搬出。スコップや手押し車を使って集めた泥を道路脇に運んだ。宮地センター長は、水田の用水路に詰まった泥をかきなど被災地のニーズは多様化し、長期戦が予想される

日間のボランティアを終え、桐生市に戻った。  
3連休中の厳しい暑さを受け、被災地ではボランティアの熱中症が相次いでいる。同県の最高気温は37度を超え、関市社会福祉協議会によると、ボランティアら計9人が熱中症とみられ

る体調不良を訴えた。同協議会は「しっかり休憩を取り、30分に1回は水分補給をしてほしい」と呼び掛けている。  
同市は17日も特に被害の大きかった土保地区のみ、ボランティアを受け入れる。今後は未定としている。  
同市によると、津保川沿いなどの集落が濁流にのみ

## 前橋、高崎の一部小学生乗り放題

### 1000円で夏休みバス定期券

前橋市内均一区間、マイバス全線  
高崎市内均一区間、高崎アリーナシャトル、ぐるりん  
(高崎駅を発着する路線に限る)  
平成30年7月21日から 平成30年8月26日まで

ぐんまちゃんの絵が添えられた定期券

ぐんまちゃんの絵が添えられた定期券

夏休み期間に合わせて小学生のバス利用を促そうと、県バス協会と県などは、前橋、高崎両市内の限定区域を対象に千円で乗り放題となる「ぐんま夏休み子供バス定期券」を発売する。昨年同様、引き続き取り組み、今年には両市の協力を得てコミュニティバスにも対象を

行する両市内の路線のうち大人料金2000円で乗れる均一区間と、前橋市内を循環する「マイバス」全線、高崎市の「高崎アリーナシャトル」全線、JR高崎駅を発着する「ぐるりん」路線、利用は小学生限定。  
JR前橋、高崎両駅のバス案内所で19日から購入で

込まれ、死傷者2人、全平壊6棟、床上、床下浸水計936棟の被害が出た。